

お口の健康応援団  
NPO法人口腔健康推進協会サークルi



## サークルi 会報

# こもれび

### 「子どもの発達」問題 その3 人的環境の破壊

1991年、当時のローマ法王ヨハネ・パウロ二世は、歴史の転換期に出す回勅（レールム・ノヴァルム）を世界中のカトリック教会の司教と信徒に対して発しています（前回は、約100年前）。その中で、ローマ法王は、自然環境の破壊とともに、人的環境の破壊の問題を指摘しています。この人的環境の破壊とは、人と人の絆が破壊されつつあることを意味しています。

我々は、自然環境問題については、地球温暖化など大きな人類共通の問題として取り上げていますが、人的環境の問題については、十分には取り上げていません。しかし、この人的環境の問題は、子どもの発達に深刻な影響を与えてしまいます。すなわち、子どもの発達は、保護者からの愛情、仲間との交流、社会への信頼感といった人間関係の中ではぐくまれていくべきものですが、人的環境の破壊は、ここに大きな影響を与えてしまいます。

我々は、「子どもの発達」問題について、これまで「愛着形成」や「社会性の獲得」などの観点から様々な研究成果に基づき警鐘を鳴らしてきましたが、社会への信頼という観点からは十分とは言えなかったと思います。しかし、人的環境の破壊、すなわち人と人の絆の破壊は、現代社会が子どもにとって果たして価値のある社会かどうかといった根本的な問題を提起しています。我々大人の在り方生き方が問われているのではないのでしょうか。（玉井）

